

秋の活動者会議 (2023年10月8日)

**たたかって仲間を増やす、組織拡大月間の成功に
みんなの力を合わせて活動を推進しよう**



ただがって仲間を増やす 組織拡大月間の成功へ—23秋の活動者会議・出陣式

は10月8日(日)ラパスホールに50人の本支部役員を中心に集め、開催しました。

運動の新たなステージへ

労働者教育協会副会長の江口健志さんより「いま、地域から個人加盟ユニオンの前進が求められている—運動の新たなステージへ。集団化への模索」と題する講演も、新鮮な感動を呼びました。

冒頭、佐藤義見執行委員長は「この間、各支

部大会も開催され組織を大きくする目標を構えた決定がなされている。今日はCU東京2千、3千という新たな道を切り開くきっかけの場としたい」と挨拶しました。

励まされた、運動に確信が持てた

江口講師のお話は、労働者をめぐる情勢に加え、CU東京の前進と教訓、企業別組合の限界を超えた運動の展望、地域労働運動の社会化、組織化について熱い呼びかけとお話しがありました。「励まされた、運動に確信が持てた」等の感想が語られました。



白滝書記長はCU東京では初提案、秋の諸運動、とりわけ組織拡大月間をみんなの力を合わせて成功させようと呼びかけました。



その後、質疑と7つの支部から経験や問題提起の発言、また渋谷支部は30代の新委員長が決意表明し、がんばれよーの温かい会場コールに包まれました。

参加者交流・懇親会



松井副委員長の司会で第二部の参加者交流・懇親会（拡大出陣式）に進みました。オープニングは「いろそら合唱団」に盛り上げていただきました。

参加した組合員が大いに語らい、決意表明もなされた交流会となり、10月準備、11月～12月と本番で全支部の拡大目標達成を近い、来年1月の15周年祝賀を盛り上げようのがんばろうコールで閉会しました。

《支部大会開かれる》

第15回定期大会 労働組合の果たす 役割は大きい 地域労組こうとう



地域労組こうとう第15 回定期大会が、9月30日（土）午後4 時から亀戸文化センターで行われました。

執行委員会を代表して挨拶した新野委員長は「2025年の大阪万博で残業規制をなくそうとしたり、解雇の金銭解決制度を導入しようとする動きなど労働法制改悪の動きが強まっている。全体の労働条件を守るために労働組合の果たすべき役割が大きくなっている」と述べました。

大会で選出された次期役員は次の通りです。

- | | | |
|--------|-------|-------|
| 執行委員長 | 新野好雄 | |
| 副執行委員長 | 小倉一男 | 清水英明 |
| | 名越秀和 | 三輪佳子 |
| | 中村 元 | |
| 書記長 | 松井優希 | |
| 書記次長 | 田辺陽子 | 山下春樹 |
| 執行委員 | 入江由美子 | 古川敏也 |
| | 小西千鶴子 | 清水のり子 |
| | 中島聖一 | 見上成宜峻 |
| | 田村公広 | 川村好正 |
| | 手塚和美 | 青木正憲 |
| 会計 | 加藤桃子 | |
| 会計監査 | 諸隈智子 | |

速報

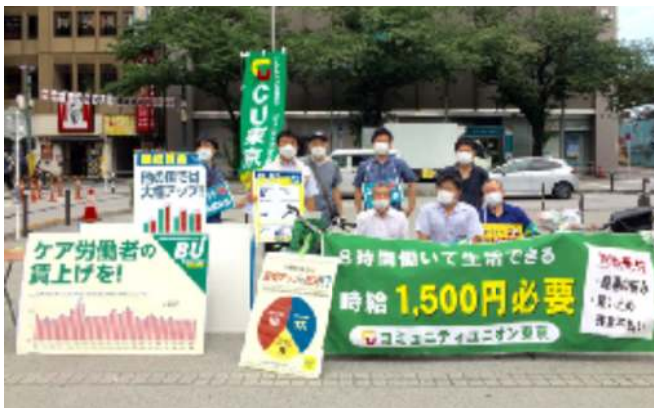
ただかって仲間を増やす 組織拡大月間の成功へ —23秋の活動者会議を受け、足立目標達成！！



10月18日（水）、CU足立は拡大目標を達成しました。
「僕は、一番が重要なんです。みんなを励ますためにも、活動者会議を受けて、まずは目標達成をめざして、組合員を増やしました。早期に160人達成のために引き続き頑張ります。」
CU足立の高島書記長の決意です。
各支部も目標達成に向けて、ご一緒に頑張りましょう。

《支部の取り組み》

CU中野支部 最賃1500円の要求を 知らせ



10月7日（土）CU中野支部は、東京の最賃1113円の周知と全国一律最賃1500円要求の宣伝行動を行いました。中野労連や最賃ネット＝ボトムアップ中野も共同のとりくみです。中野駅前には通常はチラシの受け取りがよくないのですが、1113円ティッシュが注目され、準備した200部のCUリーフを1時間弱で配布できました。

若い人たちが自分から手を出して受け取ることも多く、最賃への関心の高まりを感じました。その背景には実質賃金が下がり続け、生活苦が広がっていることがあるのでしょう。

宣伝の様子や1500円要求の横断幕の写真を

撮る人、励ましの声をかけてくれる若者たちも少なくありません。最賃アップへの共感のひろがり確信しました。

三多摩協議会 最賃運動の重要性



「最低賃金が10月から上がります、暮らしを守るため最低賃金1500円をめざしましょう」と呼びかけた、JR国立駅での宣伝行動には三多摩役員7人が参加し、ティッシュ中心に40分で100部程度配布し奮闘しました。

チラシを受け取った高齢男性が、岸田首相の指導力を嘆きつつ励ましの声を掛けてくれました。宣伝は横断幕準備など不十分さもありましたが、最賃運動の重要性を感じた行動となりました。

11・5東京ジャック (青年大宣伝行動)

東京ジャック実行委員会は今年も、11月5日(日)14:00～、原宿駅にて、東京ジャック(青年大宣伝行動)を実施することにしました。「#労働組合最強説」を合言葉に、街行く青年(未組織労働者)に対して労働組合の持つ「力」や「魅力」を伝え、労働組合に入って変えようと呼びかけることにしています。現在、単産・地域の青年部員が集まる実行委員会で、準備をすすめています。

9月10日(日)には、同行動のプレ企画を開催し、青年組合員56人の参加のもと、各青年部の活動を交流する企画と、ビアガーデンBBQ交流会を行いました。労働組合の魅力をテーマに、仲間づくりや青年への働きかけ方について、みんなで交流しながら考えました。さいごには、11月5日に原宿で開催する東京ジャックの成功

に向けて、青年150人を集めようと意思統一しました。

東京地評定期大会で 拡大現勢実増で表彰

9月23日に開かれた東京地評定期大会において、この一年の組織拡大に対して、表彰されました。代表して、代議員で参加した岩田執行委員が表彰状を受け取りました。



はたらく女性の東京集会 11月5日

第9回 はたらく女性の東京集会 2023

大軍拡を許さない

平和な未来にむけて、いま私たちができること

ロシアのウクライナ侵略や「中国の脅威」に備えるとして、自民党などが改憲の動きを強めています。資金が上らず、くらしが大変なのに開けず、岸田政権は軍事費を2倍にして、憲法違反の先制攻撃用ミサイルをアメリカから大量に購入しようとしています。憲法9条廃止、日米軍事同盟強化、核兵器共有、非核三原則の見直しなどの動きが強まっています。

日本を戦争する国にさせないために、「戦争の準備」ではなく、「平和の準備」を、「大軍拡NO! 平和とくらしをまもろう」の声を広げていきましょう。

第1部 平和・いのち・くらしを守ろう 13:40～

完全無料 「絵本で語る平和ってどんなこと？」



講師 浜田 桂子さん(絵本作家)

プロフィール

児童出版、『あやちゃんのうまれたり』(福音館書店)でデビュー、絵本制作に「だれのことでもこころざさない」など参加。日本、中国、韓国での絵本作家と活躍して『平和な未来を創る』、『いっしょにできること』など数冊の絵本を出版。香港で『Hong Kong Book Prize』を受賞。2022年クワライフ賞、ロシアの侵略『Russia』を受賞。留学がのびるご自身の絵本制作も人々に「絵本が世界をアツクする」を志し、日本クワライフ『子どもと未来』編集委員、東京大学名誉教授。

第2部 文化行事 15:20～

平和を歌う 三角 真弓さん(シンガーソングライター)

プロフィール



曲名「ちいさなひとつづ」(ドキュメンタリー映画「声をあげる高校生たち〜核兵器禁止条約に署名・批准を〜」のエンディング挿入歌)ほか

会場発音・争議団紹介等

11月5日(日)

13:30～16:30

開場 13:00 参加費無料

げんせつスラザ東京 5階

はんせつコアラジ東京(東京土産本舗会館)JR有明駅「大久保駅」から徒歩3分/丸山手線「大久保駅」から徒歩8分

★オンライン併用開催です(Zoomb 11時から入室可能)

ミーティングID 882 4926 0556 パスコード 1105



主催: はたらく女性の東京集会実行委員会
連絡先03-5385-3171(東京地評)
東京地評女性センターの単産・地域組織、東京労働大会連合会、婦人民主クラブ事務、東京連理人新連合会、新日本婦人の会東京本部、JAL争議団

■埼玉県議会は、自民党が提出していた虐待禁止条例「改正」案を同党が取り下げること確認。同案は小学3年生以下を自宅などに放置することを禁止し、県民には通報義務を課すもの。委員会は自・公の賛成で通ったが、直後に世論も有識者からも猛反対の声が上がり、自民県議団は「説明不足だった」と言い訳をしていた。■家庭と母親に子育てを押し付ける意識が根底にある時代錯誤。子育ての制度・施設は不十分なまま放置し、女性の社会進出を妨げてきたのは自公政権であることの自覚がない。■自民党改憲草案に気になる条文がある。24条に「家族は、互いに助け合わなければならない」を加え、3項として扶養、後見、親族という言葉を入れようとする。社会よりも家庭で面倒みろ、ということは党是らしい。■旧統一協会に文化庁が解散命令請求を申し立てた。現在の名称は世界平和統一家庭連合とされている。ここでも「家庭」が前面に出ていた。相通ずるものがある。